

平成22年8月発行

第18号

発行 有田川町議会
住所 郵便番号 543-0021
和歌山県有田郡有田川町
大字下津野2丁目番地4
電話 0737-52-2111
FAX 0737-52-2198

http://www.city.ouda.lg.jp/e/ouda/ouda.html

有田川町議会広報 かわせき版

平成22年度補正予算等…………… 2～3
町長にもの申す…………… 4～11
委員会レポート…………… 12～15
編集後記…………… 16

平成22年度有田川町観光写真コンテスト
審査員特別賞作品『三姉妹』

提供：有田川町観光協会 撮影者：小宮麻彦氏

雇用創出推進基金積立金など一般会計補正額

2億4,300万円

鉄道車輛動態保存展示委託料に766万円

平成22年 第2回定例会は、6月7日から22日までの日程で開催されました。本定例会には、一般会計補正予算、条例の

一部改正、工事請負契約、人事案件などの議案16件、報告(専決処分)18件を審議し、すべて原案の通り可決されました。

◎平成22年度一般会計補正予算等

(単位:千円)

項目	補正前の額	補正額	合計	適 用
一般会計 (第1号)	14,530,000	243,000	14,773,000	雇用創出基金積立金 災害復旧費他
一般会計 (第2号)	14,773,000	402,000	15,175,000	カラーセンサー機の 更新等
老人保健事業 特別会計	3,012	3,229	6,241	償 還 金
介護保険事業 特別会計	2,352,285	11,000	2,363,285	高額医療介護サービ ス費負担金
簡易水道事業 特別会計	319,847	8,280	328,127	簡易水道施設整備費

金田財政課長 現在考えているのは、県のふるさと雇用再生特別基金活用事業等を2年間予定し、その間に集客等の状況も見ながら、今後も事業の必要



動態保存されている気動車

【A】 鉄道車輛動態保存展示委託料766万5千円とその燃料費13万円合わせて約780万円を予算化している。車輛2台の運行等にかかる費用を毎年こういう形で予算化されるのか。また、今後の運行委託料がどのように計画していくのか。

平成22年度
一般会計補正予算(第1号)



林道峠上二澤線終点(二澤側)

【B】 林道峠上二澤線の整備事業にあたり、用地は無償提供と聞いている。無償提供の場合も、固定資産税は減免できると思う。申し出があれば減免の手続きをすべきだ。

平成22年度
一般会計補正予算(第2号)

性を再検討し考えていく。
【C】 走らせる2台の車輛に乗車する場合、乗車料金はいくらか。
金田財政課長 現在、検討中であるが、保存会では100円から150円程度を考えていると聞く。

税務課長 この林道は公衆用道路にするか聞いた。建設課で面積を出してもらい、税務課へ減免申請をしないと非課税とさせていただきます。



JAありだカラーセンサー機

その他の議案関係

◎条例の制定
雇用創出推進基金条例の制定。

質疑 具体的にどのように使われるか明記されていない。要綱や細則でどう具体化するのか。
企画財政課長 今後、規則もしくは要綱を制定しな

ければならない。
質疑 活用時期はいつごろになるのか。
企画財政課長 財源は、国から21年度と22年度を限り交付となり、今後検討させていたきたい。

質疑 どのくらい基金が見込まれるのか。
企画財政課長 2カ年で約3億5200万円程度。

質疑 合計約3億5千万円の活用は期限が定められていないか。今後の見通しはどうか。
企画財政課長 いつまで使わなければならないというものではない。必要に応じて使っていきたい。

例えば、ふるさと雇用や緊急雇用対策事業が切れたら、その中で引き続き必要な事業が把握できたら活用していきたい。

質疑 基金条例を制定したのだから9月議会か12月議会までに使い道を明確にすべきでないか。

企画財政課長 できるだけ今年度中に要綱等を作りた

条例の一部改正

◎町税条例(年少扶養控除の廃止)
質疑 今回の改正で15才以下の年少扶養控除と16才から18才までの特定扶養家族に対する特定扶養控除の上乗せ部分が廃止。そうなると例えば、所得税で最大15万2千円、住民税で3万3千円の増税となる。また所得税、住民税の特定扶養控除の上乗せの廃止で最高11万2千円の増税にならないか。
税務課長 扶養控除の廃止で増税となる。

◎国民健康保険税条例
質疑 今回の改正では、国保の医療分の限度額の引き上げと後期高齢者医療の支援金分の限度額の引き上げがもたらされて

いる。介護保険分の限度額を入れて総合計で限度額がいくらになるのか。

税務課長 69万円から73万円になり、4万円の増となる。

工事請負契約

◎釜中簡易水道施設整備工事(黒松地区) 1億395万円

◎岩倉簡易水道施設整備工事(立石地区第3工区) 5638万円

人事の同意

◎副町長 山崎博司氏



◎監査委員 棚野信義氏

農業委員の推薦

◎川村哲夫氏



請願

◎藤並児童クラブの保育施設充実に関する請願

藤並児童クラブ第一

会長 大西弘美氏

藤並児童クラブ第二

会長 南畑好伸氏

藤並小学校教育友会

会長 野田弘晃氏

藤並地区区長会

会長 嶋田 稔氏

意見書の提出

◎選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出

陳情者

日本の子供の未来を守る会和歌山

中村友弥子氏

◎永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書の提出

陳情者

日本の子供の未来を守る会和歌山

中村友弥子氏

町長にもの申す 一般質問

こんなことが
取り上げられました



大方 福祉課長



星田 税務課長



楠木 教育長



中山 町長



河島 環境衛生課長



福原 産業課長



赤井 住民課長

質問 番号	質問議員氏名	質問事項	質問 番号	質問議員氏名	質問事項
1	岡 哲 吾	1. きめ細やかな高齢者・障害者福祉を 2. 今後の農林業振興、活性化の施策を問う	5	増 谷 薫	1. 住民負担の少ない国民健康保険制度に 2. 早期に町道平池吉原線の改修を 3. 風力発電の騒音問題は
2	佐々木 裕 哲	1. 環境問題への取り組み姿勢は 2. かなや明恵峡温泉の半額割引制度の導入を	6	橋 部 重 計	1. 新金屋庁舎の建設計画の進展は 2. 廃校になった学校施設の利活用に対する町の取り組みは
3	殿 井 典	1. 吉備中学校改築に伴い、想定される事業計画は 2. 今後の有田川町における公共事業は 3. 風力発電の騒音問題の認識は	7	堀 江 眞 智 子	1. 有田川の浚渫を 2. 烏尾川の浚渫を 3. 子宮頸がんワクチンの接種に町補助を
4	森 本 明	1. 人口問題は 2. 教育行政に関連して			



きめ細やかな高齢者福祉の充実と農林業の活性化策を

岡 省 吾

高齢者にやさしい対応を

【問】 現在、有田川町の高齢化率は約29%。旧町別では吉備地域21%、金屋地域34%、清水地域47%とますます高齢化の流れが急速に進む状況にある。最近ではひとり暮らしの高齢者が、誰にも気付かれず孤独死されていったなどという悲しいできごともあり、また身体障害者の方の中には、当然受けられるさまざまな減免措置や割引、優遇等の制度を知らないままの方もおられ、「きげん伺い」や「ご用聞き」など、地域全体での見守る支援が更に重要となってくると思われるが町の取り組みは、

また、高齢者宛の郵便物についても、行政用語や文字の大きさに気を配り、読み手が理解しやすい

い書面の配慮を望む。



社会福祉協議会ディサービス (休日の時間)

町長 現在、見守り協力員はじめ福祉行政に関係するみなさまの協力を得て、ひとり暮らし世帯の状況調査をしている。現状を把握し、各種相談のご用聞き、災害時の支援等を区長さんをはじめ地域のみなさんと連携し、安心安全に高齢者が暮らせるよう今後も取り組む。郵便物についても、文面の配慮を早急に検討する。

積極的なみかん振興策を

【問】 みかん産業は長らくの景気低迷、消費者の果実離れで消費が落ち込

んでいる。生産者が夢と希望の持てる農業施策を関係機関と連携を密にして講じることは喫緊の課題だ。

わが町の基幹産業であるみかん振興策の今後の取り組みについて問う。

また、中国貴溪市との農産品流通の今後は、

町長 昨年のみかん価格は近年になく低迷した。産地間競争に勝ち残るため、販売戦略の再構築が必要だと考えている。

昨年もJA役員さんと北海道、大阪へとPRに出向き好評を得たが、販路拡大には非常に難しい状況だ。生産者あるいは共撰、JAなど関係機関と連携し、ブランド有田



みかん消費の宣伝に努め、高品質なみかん

木質バイオマスの研究を

【問】 昨今、クリーンエネルギー事業への施策が非常に注目されている。当町においても太陽光発電の導入促進、風力発電の誘致に取り組んでいるが、新たに木質バイオマス事業を研究し実践してはどうか。

町長 日本の技術発展はめざましく、木質を利用しての新エネルギーは大いに期待するが、非常に大きな事業であるため、現状は町独自の事業化は難しく、民間の力も借りながら、まずは研究課題とし、一度調査を行いたい。

環境問題を問う



佐々木 裕 哲

鳥尾川の 水質事故は

【真砂】 6月は環境月間。

平成5年11月に制定の「環境基本法」に基づき、環境保全のために制定、環境問題に対して国や自治体、企業、あらゆる分野や一般家庭でもいろいろと取り組んでいる。

さて、4月10日に鳥尾川で魚の死滅事故が発生した。この川は吉備地区内を流れる2級河川だが上流から下流まで、大量死し、あつてはならない事故が起こった。

今や環境問題に対して厳しいが、何が原因だったのか。今後二度と起こらない対策をどのように考えているのか。

町長 鳥尾川で魚の大量死現場を私も見てきた。この他に5月14日、熊井川、5月16日、早月谷川、5月19日、天満川で



水質事故が発生した鳥尾川

も同じ水質事故が起きた。いずれも農薬の残液の廃棄が原因と考えられるが、保健所、警察等で調べた結果、決定的な原因は不明だ。

今後、関係機関と協議し、再発防止に取り組んでいく。特に鳥尾川水系には、上水道の取水8号井戸があるがすぐに停止して、徹底した検査をしたが、異常なく安心して

環境衛生課長 魚が大量死している。

環境衛生課長 魚が大量死す

るといふことは、河川の生態系が変わり環境が破壊されていく。環境衛生課としても、今後とも環境問題に対し町民に広報等で徹底してもらおうように取り組んでいく。

かなや明恵峡温泉の 半額割引制度の導入は

【真砂】 清水、二川両温

泉は町内65才以上の方に入湯半額割引証を発行しているが、かなや明恵峡温泉も福祉行政の一環として導入すべきではないか。

また、巡回バスでの来客数は増えているのか。

町長 清水、二川温泉のように7月中に導入する。半額にして売上金が減っても入浴してもらうことにより、みなさんが健康になり医療費負担軽減になれば、それにこしたことはない。

産業課長 改築オープン後、入湯者は昨年同月比21%増加した。巡回バスでの来客者は除々ではあるが増加している。



かなや明恵峡温泉



地元の産業を支え、地元の声を大切に

殿 井 堯

吉備中学校改築の 今後は

【質問】 有田川町の建築関係で一段と大きい吉備中学校改築だが、基本設計について予定金額の3分の1で落札され喜ばしいことながら、改築工事が粗悪にならないよう別の業者に監理を求める。

【回答】 併せて工事の監理業務を委託する場合、工事等に地元業者が参画できるように重要視していただきたい。

また、吉備中学校改築の進行具合について尋ねる。

【町長】 吉備中学校は築後40年以上経過しており、耐震の問題もあり改築が懸案事項である。すでに基本構想並びに基本計画が平成22年3月にできている。平成22年度中に用地買収を進め、平成24年度末の完成を目指している。

きたい。

【教育長】 今後の監理委託業務については、非常に大切、重要だと考えている。



吉備中学校

公共工事は地元で

【質問】 町が発注する公共工事について、今までは大手業者に出されていたものが地元業者に入札の機会が増えてきていることは喜ばしいが、中には専門的な分野もあり、難しい面もあると思うが、一層の努力を求める。

【町長】 国・県は一般競争入札を推進されるが、地元の業者さんも地域経済

を支えて、多くの方が仕事に従事されている。

今後でもできるだけ地元発注という方向で進めていきたい。

風力発電施設の騒音

【質問】 風力発電施設にかかる騒音問題について地元の方々が近隣町等へ視察されているが、町として今後の対処方法の考えを求める。

また、地域に向いて調査を行っているのか。

【町長】 将来の観光ビジョンや地域経済の発展を目

指して始めたが、想定外の騒音があるということとで県・地域の方々とも協議を重ねたい。

【環境衛生課長】 風力発電にかかる騒音規制については法律上の対象となっておらず、風車は停止になっていない。事業者は、今後防音対策を行い運転を続行することとしている。しかし、日々騒音で悩まされている地域でもあるので、一日も早く解決したいと考えている。また、現地にも出向いている。



長峰山脈に立つ風車

企業誘致等で雇用の創出を図れ



森 本 明

企業誘致策は

【質問】平成22年7月18日に、阪和道も有田インターまで4車線化で供用開始され、京阪神が随分近くなる。この機会に若者の人口流出を防ぐべく、雇用先の確保に向け、優遇策として企業立地促進条例の充実を図り、企業の進出を町村会長で培った人脈を生かし、促進されたい。

町長 働く場の提供は人口流出を防ぐ最善策であると認識している。企業の進出の兆しがあれば土地の先行取得、道路、下排水の整備などとともに条例の充実も含め、今後取り組みたい。

福祉施設の誘致を

【質問】確実に雇用が生まれ、入所待機者を一度に解消できる老人福祉施設誘致に力を注がれたい。

町長 町内には一部重複しているが、170名前後の入所待機者がいる。施設ができる雇用も生まれるが、介護保険料に影響が出るので、バランスを考えながら、有田広域で検討していきたい。

ITターン事業の取り組みは

【質問】農業をしながら、田舎暮らしを希望している方の受け入れ態勢は万全か。農地銀行への貸し出し可能な農地の登録はあるのか。

町長 3年間で3件の農業講座実績。

最近、大阪の方が来られ、みかんを作りたいと現在研修を受けている。

また農地銀行へは45戸の農家からご協力いただき、132筆(15万平方m)の登録となっている。農地の必要な方は農業委員会まで申し出てほしい。

子どもサポート運動の充実を

【質問】「子どもを守る日」啓発運動は年4回実施されている。不幸な事故を起こさないよう、より有効な安全対策も必要ではないか。

町長 年に4回は「おはようございます」の声かけ運動として実施している。

今後あらゆる団体のみなさまや、いつも交差点で見守って下さる方々のご協力もいただきながら、より一層児童が安全に通学できるように努めたい。

子どもの体力向上策はどうか

【質問】県内の児童の体力は、全国レベルに比べ落

ち込んでいるが、どのような強化策を实践されているのか。



きのくにチャレンジランキング(50m走)県下1位の鳥屋城小学校

【町長】体力強化のため、各学校で一輪車、縄跳び、水泳、陸上(きのくにチャレンジ50M走)、野球、バスケット、サッカー、武道等の体育系に加え、食育指導を推進している。

これからも全国平均を超えるよう、指導していきたい。



安心して使える国保制度に

増 谷 憲

国保税一世帯 一千万円の引き下げを

【質問】 景気低迷での税収減でも国保基金や基金安定基金、財政調整交付金があり、国保税一世帯一千万円の引き下げを求める。

町長 平成22年度の国保会計の状況、また後期高齢者医療制度の廃止による新たな保険制度を見極めねばならない。みかんや景気の低迷で税収が減ると予想される。

平成22年度の国保会計決算をみて健全の見通しがつけば検討したい。

経理課長 平成22年度の国保税は、前年度と比較して約9700万円の減収が見込まれる。

医療費の減免措置 を条例に明記を

【質問】 医療費が払えないときに医療費を減免したり、医療費の支払いを猶予できる制度が国保法に明記されている。国保条

例に明記すべきでないか。
町長 今後、減免等の制度化と基準づくりを検討したい。

【質問】 国保法施行令第1条では、世帯主やその親族が病気になるか、または負傷した場合も該当する。町の国民健康保険条例にも施行令に基づいて明記することを要望しておく。

資格証発行世帯でも 高校生がいる世帯に は保険証の発行を

【質問】 資格証を発行している世帯には、高校生のいる世帯もある。高校生が病院へかかれるように保険証を発行すべきでないか。

町長 国民健康保険法の一部改正で平成22年7月1日より高校生世代が対象になる。有効期限が6カ月の被保険証を発行する

ジェネリックの活用を

【質問】 ジェネリック薬品

の活用を医療機関へ働きかけるよう求める。

町長 患者自身が決めることだが、同じ効力であれば安くつく方がいい。希望があるときは、協力していただけるよう要望している。

肺炎球菌 ワクチンの制度化を

【質問】 死亡原因の4番目が肺炎である。肺炎球菌ワクチンを接種すればかかりにくくなる。注射代を助成する制度をつくらたい。

町長 肺炎球菌ワクチンは、すさみ町で75才以上の方に全額負担している。1回の接種費用は約8千円、仮に本町の75才以上の方に実施すると4千万円いる。一部負担の方法も考えられる。

今後、他市町村の動向もみながら検討したい。

町道平池吉原線の改修を

【質問】 町道平池吉原線（吉原〜徳田間）の改修を。

町長 7月初旬に入札し、早期に工事をしたい。

風車の騒音問題の解決を

【質問】 ユーラスエナジーが設置している風車の周辺地域から騒音の苦情が出ている。実態調査をして対策を求める。

町長 健康の害があつては絶対にだめだ。県、海南市と合同でいろんな調査をしていく。

地域の住民と常に相談しよい方向を出すようにしたい。

環境衛生課長 騒音や健康について経緯を記録するのが大事だと県から指導を受けている。地元と十分話し合つて進めていきたい。

【質問】 議会も取り組む必要がある。議長にとりからは何を求める。

議長 議会としての今後の対応を検討したい。

新金屋庁舎の建設計画は 廃校舎を老人ホームに活用しては



楠 部 重 計

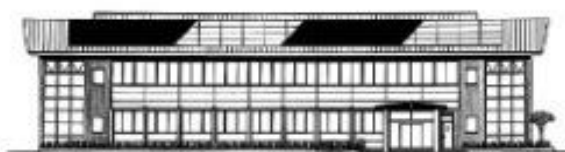
金屋庁舎の新築計画は

質問 新金屋庁舎の建設計画は、平成23年度完成目指して予定通りに進んでいるのか。

①計画概要はどうか。
②各課の配置計画はどうか。

③周辺整備、特に新庁舎から本町通り、有田川への排水路の計画が必要である。

以上具体的な計画を問う。



新金屋庁舎計画図

町長 ①老朽化が著しい金屋庁舎は新築することが望ましく、建設場所は

旧鳥屋城小学校跡地が適地であると答申いただき

庁内検討委員会を立ち上げ、継続的に検討を行っている。

総事業費で6億3千万円、鉄骨2階建ての1666・8㎡で平成23年度完成予定で進めている。

②配置計画は、総合業務課、福祉課、産業課は1階へ配置。教育委員会、環境衛生課、地籍調査課、商工会、森林組合は2階へ配置。

その他、バリアフリー対策、福祉のまちづくり対策、太陽光発電施設で省エネ対策の対応も計画している。

③排水路の計画は、浸水箇所の洗い出しを行い、金屋、中井原区など全体を把握した中で順次進めていきたい。夜間工事や通

行止めの関係で地元周辺の方々の同意なくして着工できない。十分ご理解を得て進めていきたい。

廃校舎の活用を

質問 廃校になっっている学校施設の活用に対する町の姿勢はどうか。老人

ホームなどに再活用してはどうか。これまで地域の中心として育まれた学校や体育館を高齢化、過疎化対策の施設として取り組まれない。

町長 廃校になった学校施設は、現在周辺地区の文化・スポーツ、交流行事、地区集会、農産物加工施設や災害時の避難場所などに活用している。貴重な財産でもあり、また地域のシンボリックな施設でもあることから地域の方々のご意見を聞きながら検討したい。

福祉課長 全体の高齢化率は、3月末で29%、金屋



廃校になった旧基口小学校

地区は34%、清水地区は47%近くになっている。

新しい福祉施設の計画は、有田広域圏での調整や病院との距離の問題、また耐震費用、改装費用等を考えると廃校舎を老人ホーム等への活用に対する基準など検討課題がある。



生命を救う手だてを

堀江 眞智子

有田川の浚渫を

質問 1000名以上の死傷者行方不明者を出した大水害から57年。

水害を経験した地域の方は、毎年梅雨の季節になると大変な心配をされる。

高速の4車線化により橋脚が増えることによりやっと浚渫がはじまったが、今年度の計画はどこまでか。



浚渫された田殿大橋下（有田川）

町長 これまで何度も町議会、県議会で取り上げられている。田殿橋から

下流については土砂を外に持ち出し整備をした。

現在、環境センター付近の工事を行っている。

今後、河川改修や田殿橋から上側も工事をすすめていくと聞いている。

今後県には広範囲にわたる浚渫、雑木の除去を強く要望していく。

烏尾川の浚渫を

質問 現在、有田

中央高校付近まで工事されているが、今年度はどこまで浚渫されるのか。

町長 今年度500万の予算がついている。

どこの地域の土砂をとれば効果的か調べ、県に予算の執行を働きかける。



浚渫された有田中央高校付近（烏尾川）

子宮頸ガン予防を

質問 町長は3月議会で、

子宮頸ガンのワクチンにかかる費用を、12才の女兒全員が受けたとして700万円くらいと試算されていた。また、そのくらいの予算でできるのであれば安い投資であると考えられている。

この間、女兒をお持ちのお母さん数人と話す機会があった。ワクチンの話をすると、もちろん知っていたが、3回の接種が全額負担だと3、4万円もかかるので考えてしまうという答えだった。

全県市町村会議でも子宮頸ガンワクチンの予防接種への負担について意見が交わされたとお聞きしたが、どのような内容であったのか。

町長 まもなく御坊市が子宮頸ガン予防接種補助の実施をはじめます。

5月18日に県下の市町村長会で平成22年度の県の事業説明があった。

岩出市長から県に対し、子宮頸ガンワクチンへの県の補助を出してもらい県下いっしょに始めることが望ましいとの意見が出された。

態勢が整うまでやらないということではなく町独自でもやる方向で考える。



委員会レポート

総務文教常任委員会



久野原小学校での視察風景

町内各小中学校の視察

5月27日、28日の2日間にわたり、閉会中の所管事務調査として町内の各小中学校の視察を行いました。

各小中学校を訪問し、施設や授業風景などを視察するとともに、校長先生や教頭先生、教職員の先生から各学校の特色、

課題、学校独自で行っている取り組みなどについて説明をいただき、教育長、学校教育課長、先生方と教育行政について意見交換を行いました。

町内の小中学校21校は、それぞれの規模に応じた教育指導をされ、また地域との結びつきを大切にされた学校運営がなされていることに感銘しました。

防災に関する研究

6月10日、消防長をはじめ消防署の職員を招き、防災についてを議題とし委員会を開催しました。

まず、有田川町の消防力について、消防本部の現状と課題について説明を受け、消防署庁舎の建

設予定、有田での広域的な取り組み等について意見交換を行い、総務課長から自主防災組織の設置状況及び消防団の現状について説明を受け、今後の防災にかかる地域での取り組みについて意見交換を行いました。

住民の生命、財産を守ることは行政の責務であります。集中豪雨も全国各地で発生し、町民の防災意識の高揚とともに、防災の拠点整備も喫緊の課題となってきました。



有田川町消防本部・吉備金屋消防署

有田川ライブラリー

6月17日、会期中2度目の委員会を開催し、有田川ライブラリー計画、海外研修等について調査を行いました。

有田川ライブラリー計画については、そのシステムや各図書館・室の図書冊数、今年の配本計画について社会教育課より説明を受けました。

そのほか、県内のネットワーク化や町内の図書貸出し冊数、アレックの喫茶コーナー周辺でのマナー、きび会館の読書スペースなどについて意見交換を行いました。

図書の利用者が増加してきていることは大変喜ばしく、今後さらにネットワーク化を進めてほしいと思います。

海外研修

海外研修については、



アレックの図書スペース

旧吉備町から現在に至るまでの経過、今年の海外研修の実施について担当課より説明を受け、また、研修に参加した生徒がその後どのような活躍をしているかなど、研修の成果についても伺いました。

中学生の海外研修に本年も30名が参加されます。将来を担う人材を育成していくことは大変重要な事業ですが、今後、この事業については、いろいろな方面から検討していくことも必要であると考えます。

委員会レポート

産業建設常任委員会

木材加工施設と 間伐の状況は

5月25日、閉会中の所管事務調査として委員会を開催し、清水地区の木材利用促進加工施設の運営状況と間伐の現場視察を行いました。



間伐された森林 (岩板観音周辺)

また、板尾の岩板観音周辺に赴き、森林組合で実施した間伐の現場を視察し、間伐の施策について伺いました。委員会での意見として、担当の産業課にはこれからの他の課との連携をとっていただき、町施設などの建設計

画がであれば、地元材を使用することとその計画へ早めに取り入れていただくように要望しました。長引く木材不況の中、地元材の利用促進を図っていく必要があります。委員会としても、地元雇用の一面も考えながら、今後、バイオマスや国の施策などの情報収集に努めるとともに、地元木材の利活用について、町行政に要望を出していきたいと考えています。



木材利用促進加工施設

活性化にむけた 農業対策を

6月9日、委員会を開催し、強い農業づくり事業について、鳥獣被害対策等について、林道系川三本松峰線及び森林基幹林道白馬線改良工事について調査を行いました。

強い農業づくり事業における金屋総合選果場の更新計画について産業課より説明を受けた後、金屋総合選果場、修理川地区に設置しているサルの捕獲おり、林道系川三本松峰線及び森林基幹林道白馬線改良工事の現場視察を行いました。



金屋総合選果場

現場視察を行った後、総括会議を行い、農業振興に関連して山椒倉庫の建設について、鳥獣被害対策における有害駆除について、産業課に状況を伺い、意見交換を行いました。

一次産業の発展なくして地元雇用、地域活性化はないと考えます。しかし、現在は後継者不足や鳥獣被害等が多く、耕作放棄地も増えてきています。地元地域の要望や声を聞き、関係機関とも協議して、問題の解消に今後とも取り組んでいきたいと思えます。



林道の現場視察

委員会レポート 住民福祉常任委員会

町内の福祉施設等を視察

4月19日、閉会中の所管事務調査として委員会を開催し、町内の福祉施設を視察いたしました。この日訪れたのは、プラストック収集場、水道事務所、下水道事務所、尾岩坂ごみ処分場、しみず園、高齢者福祉センターであります。



特別養護老人ホームしみず園

各施設の状況を視察し、担当課及び各施設の管理者より説明を受け、意見を交換を行いました。

特別養護老人ホームしみず園では、定数55人に対し入所待機者が61人という状況でありました。高齢化社会に対応する福祉のまちづくりは町の重要な課題であり、今後にも担当委員会として積極的に取り組んでいきたいと思えます。

藤並学童クラブに関する請願の審査

6月8日、今定例会第1日目において当委員会に付託された、藤並学童クラブの保育施設充実に関する請願について審査を行うため、委員会を開



道路に面した藤並学童クラブ第二

き藤並学童クラブの現状等について福祉課より説明を受け、併せて現地の状況を調査するとともに、請願の趣旨、内容等について慎重審査いたしました。

藤並学童クラブ第二は、建物の出入口が道路に面しており、交通量が増加傾向にあるため、事故の未然防止の対応を考えるなど、子どもたちの安全のために、施設の整備等も含めた早急な対策を求めていくことで意見がまとまりました。その結果、委員会として全会一致で採択と決定しました。

風力発電の騒音の状況と今後の対策

6月8日、風力発電施設からの騒音に地元から苦情が寄せられていることについて、環境衛生課より報告を受けました。

そして、議会閉会後の6月29日、再度、委員会を開催し、今後の対策について検討しました。

風力発電施設から発生する騒音、低周波音の調査結果について担当課から説明を受けた後、

現地の状況を把握するため、田角・大賀畑の両地区に赴き、状況を調査いたしました。また、同じく風力発電施設がある広川町にも赴き、風車付近の状況調査を行い、町の対応についてお伺いしました。



山頂の風車が見える田角地区

今後の対応策を検討する上で、当町と似たような条件で同じ課題をかかえる他府県での状況を調査し研究すること、また騒音・低周波音の調査に関する資料を整えておくことを担当課に要請しました。

委員会としては、風力発電の騒音に対する調査・研究を行い、今後、担当課とともに対策を考えていきたいと思えます。

委員会レポート

下水道事業対策特別委員会

下水道事業の現状と今後の整備(計画)は



浄化センターを見学する田原小4年生

6月18日、下水道事業の現状と今後の整備(計画)についてを議題に特別委員会を開催しました。今年の3月に当委員会も新しい委員構成になり、下水道事業に対する町の取り組みについて、改めてお伺いしました。

町内の下水道事業として、農業集落排水事業、簡易排水事業、浄化槽市

町村型整備推進事業、合併浄化槽(個人設置)の状況、公共下水道事業の現状と今後の整備計画、推進協議会の取り組みなどについて、担当課より経過説明を受け、また、古備浄化センターを視察し、プロジェクト映像により施設の内部や下水道事業等についての説明を受けるとともに、今後の課題等について意見交換を行いました。



5月28日に行われた推進協議会総会

委員会レポート

国道対策特別委員会

22年度、町内国道工事の概要

6月3日、閉会中の所管事務調査として国道対策特別委員会を開催しました。

有田振興局から建設部

下水道事業推進協議会の取り組み

現在進行中の公共下水道事業については、関係各所で推進協議会(委員64名)が設置され、加入推進や啓発等に取り組み、貴重な意見もいたいただいており、当委員会として、今後も事業推進に取り組みしていきたいと思

副部長と担当者の2名にご出席いただき、管内国道424号・480号における本年度実施予定の工事の概要について説明を受けました。

424号については、西ヶ峯地区・吉田地区を、480号については、板尾押手区間、岩野河バイ

バス、長谷川、丹生、田口の各地区を、また、県道吉備金屋線バイパスでは、有田インターチェンジ付近の工事を実施予定とのことであります。

また、国道の各整備区間の進捗状況や草刈り等の維持管理、事故の多い箇所での対策等について意見交換を行うとともに、今後の国道整備はできるだけ当委員会に情報提供していただくように要望しました。



岩野河バイパス工事(国道480号)



観光客を出迎えるヒマワリ（しみず温泉あさぎり）撮影者：一ツ田 友也氏

議会広報編集

特別委員会

◎ 殿 井 堯

○ 湊 正 剛

増 谷 憲

岡 省 吾

新 家 弘

竹 本 和 泰

◎ は委員長

○ は副委員長

傍聴に

お越し

ください



第3回定例会は9月8日開会の予定で、一般質問は、16日・17日に行ずれも予定されています。議会では、みなさんの生活に直結する問題を協議してあります。

ぜひとも傍聴にお越し下さい。

お待ちしております。

編集後記

夏本番を迎え、日々ますます健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、議場にお越しいただけない住民のみなさまにも議会の様子をお伝えできるよう、かねてより検討されておりました議会中継も、6月議会より古備庁舎、金屋庁舎、清水行政局の1階ロビーにおいてリアルタイムによる映像配信を開始しました。議会をより身近なものとして、また情報発信の重要性からみても、非常に意義のあるものであり、映像配信により、さらに議員個々の活動もより広くお伝えできるものと考えます。

今後とも開かれた町政、議会活性のため、みなさまの貴重なご意見を賜りますようお願いいたします。

(岡 省吾)

お問い合わせ

☎52121111

吉備庁舎4階

議会事務局まで